

平成 19 年 11 月 14 日

下野市長 広瀬寿雄 様

下野市総合計画審議会  
会長 中村 祐 司



## 下野市総合計画（案）について（答申）

平成 18 年 9 月 25 日付け下企財第 152 号をもって諮問のあった下野市総合計画（案）について、下記の意見を附して、別添のとおり答申する。

下野市総合計画審議会は平成 18 年 9 月 25 日の第 1 回審議会の開催以降、今日まで 9 回にわたって審議を行ってきた。

毎回の審議では、諮問書にいうところの「下野市の総合的かつ計画的な行政運営を図るための総合計画の策定について、合併の経緯を踏まえつつ、市政の課題を着実に解決し、将来にわたり持続可能な行財政運営の確立を図る」という観点から真摯に取り組んできた次第である。

すなわち、現状の把握や市民アンケート結果をめぐる分析、市内主要施設を対象とする現地視察、下野市総合計画懇話会との連携、新市建設計画との整合性、さらには庁内調整やパブリックコメントへの適切な対応なども含め、基本構想および基本計画の骨子や素案内容についての丁寧な検討を積み重ねてきたところである。

その結果、これからの下野市の礎となる下野市総合計画基本構想（案）および下野市総合計画基本計画（案）がここに取りまとめられた。

地方自治体を取りまく政治・経済・社会環境の変動が増す中、当総合計画の着実な実践を通じて、一人ひとりが下野市に住んでいることに愛着と誇りが持てる地域づくりの実現を切に望む次第である。